

一般社団法人日本内視鏡外科学会

2018 年度（自 2017 年 10 月 1 日 至 2018 年 9 月 30 日）第 1 回理事会議事録

会員各位

日本内視鏡外科学会

☐開催日時 2018 年 5 月 21 日（月） 16：00～19：40

☐開催場所 ステーションコンファレンス東京 605 BC

☐理事総数 25 名

☐監事総数 4 名

☐出席理事数 18 名

☐出席監事数 2 名

☐出席理事の氏名

渡邊昌彦（理事長）、坂井義治、明樂重夫、池田徳彦、猪股雅史、岩崎昭憲、宇山一郎、大須賀穰、小澤壯治、笠間和典、塩田 充、内藤 剛、中村雅史、橋爪 誠、羽渕友則、森 俊幸、山高篤行、若林 剛

☐出席監事の氏名

黒川良望、山下裕一

☐出席名誉理事長の氏名

北島政樹、北野正剛

☐議長の氏名

渡邊昌彦

☐決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

☐議事の経過の要領及びその結果

以下の通りである。

＊

定刻に至り、定款第 41 条に基づき渡邊昌彦理事長が議長席につき、開会を宣し、本日の理事会の開催及び議決に必要な定款上の定足数を確保し、本理事会が適法に成立した旨を告げ、議事が開始された。

1. 前回の理事会議事録が確認された。

2. 審議事項

1) 規約委員会（橋爪誠委員長）

- ・定款変更案として、評議員の再申請に関する条件について資格喪失から3年を経た後でなければならない旨を追記することについて承認された。
- ・EU諸国で本年5月25日から施行されるGDPR（一般データ保護規則）に対応するため、プライバシーポリシーの見直しを実施することが報告され、承認された。
- ・特定個人情報等の取扱いに関する基本方針、および事務局における個人情報等の取扱いに関する規則を新設することとし、内容は顧問弁護士に検証いただいたうえで、規約委員会の審議を経て学会ホームページへ掲載する予定である点が説明された。

2) ロボット支援手術検討委員会（宇山一朗委員長）

- ・絹笠祐介委員の新任が報告された。
- ・事前登録に関して、システム構築料、運営料およびオーディットの実施のため、必要経費を再確認し、登録料は1臓器5万円とすることが説明され、承認された。
- ・日本呼吸器外科学会千田理事長との話し合いにおいて、「オーディットは呼吸器外科学会で実施すること、著作権はJSESと共有すること、呼吸器外科領域の登録料についてはJSESへの支払いは予定しないこと」が報告され承認された。
- ・プロクター推薦者のリストについて報告され、承認された。学会ホームページに公開する際、JSESの推薦である点の補足を付記すること、リスト以外の医師でもプロクターとして活動できるという点が確認された。
- ・ロボット支援下内視鏡手術導入に関する指針、消化器外科領域ロボット支援下内視鏡手術導入に関する指針について報告がなされ、一部訂正をしたうえで学会ホームページに公開する点が承認された。ヘルニア領域に関しては今後指針に加えていく必要があるとの意見が出され、まずは保険収載を経て今後検討していくことが確認された。

3) 財務委員会（小澤壮治委員長）

- ・田中淳一委員の退任が報告された。
- ・2018年度補正予算案について説明され、承認された。
- ・NCD術前登録に関する寄付は金額が確定してから記載することが決定した。
- ・電子公告（貸借対照表、損益計算書）について、定款に基づき今後学会ホームページへ掲載していくことが報告された。

3. 報告事項

1) 編集委員会

(1) 日本内視鏡外科学会雑誌（渡邊昌彦編集主幹）

- ・投稿状況が報告され、採用率が平均で34.0%と厳しい状況であることが説明された。
- ・投稿規程に、論文指導責任者名の記載、および学会の用語集に準拠することを追加する点が報告された。
- ・学会誌のオンライン化については2019年1月号から実施予定である点が報告された。

(2) Asian Journal of Endoscopic Surgery（北野正剛編集主幹）

- ・Wiley社より、インパクトファクター取得について現状とルールについて報告がなされた。

- ・自誌引用は現状高くないが、あまり高いとインパクトファクターが外される場合があり、注意するようにとの説明が北野正剛編集主幹よりなされた。

2) 総務委員会（藤澤正人委員長が欠席のため渡邊昌彦理事長より代理報告）

- ・庶務報告 会員数 13,630 名（2018 年 3 月 31 日時点）
- ・今年度の新規入会者数 247 名，退会者数 159 名が報告された。また，2017 年度での会費滞納による会員資格喪失者 329 名が報告され，この点についてはより改善する必要があるとの意見が出された。

3) 教育委員会（山口茂樹委員長が欠席のため中村雅史理事より代理報告）

- ・長谷川徹委員の新任が報告された。
- ・公認研究会 87 団体に実態調査を実施し 52 団体から回答を得たことが報告された。
- ・公認研究会，後援講習会の審査基準について，規則として一部修正の上，規約委員会の審議を経て学会ホームページに掲載することとなった。
- ・臨床見学・臨床指導プログラムについて大腸領域での実施結果について好評であった点が報告され，6 月以降に大腸領域から本格的に開始していくことが説明された。

4) 学術委員会（猪股雅史委員長）

- ・家入里志委員の新任が報告された。
- ・第 13 回内視鏡外科手術に関するアンケート調査の英文化を進めていることが報告された。
- ・第 14 回内視鏡外科手術に関するアンケート調査が実施中であること，第 31 回 JSES 総会で結果報告を行う予定であることが報告された。
- ・NCD 2018 年度研究について，2 件申請し 1 件採択されたことが報告された。
- ・内視鏡外科手術の安全教育の一環として，経済産業省の支援の下，タイをはじめとするアジアでのトレーニングプロジェクトが立ち上がり，日本の内視鏡外科医の指導の他，技術や機器，日本内視鏡外科学会技術認定制度を今後更に広めていく予定であることが報告された。

5) 保険委員会（森俊幸委員長）

- ・平成 30 年度保険収載改定要望の結果について，新設要望として提出した 5 件のうち，ロボット支援手術に関する要望が 2 件受理，また改定要望として提出した 7 件のうち，3 件受理されたことが報告された。なお，経肛門の内視鏡下手術（K 739-2）については，2 次評価にて「医学的な有用性が示されている」とされたものの要望改定（増点）には至らなかったため，厚労省に対し，緊急要望を提出したことが報告された。
- ・外保連主催の記者懇談会が 7 月に予定されており，JSES からは，ロボット支援食道手術（佐賀大学 能城浩和先生），ロボット支援直腸手術（東京医科歯科大学 絹笠祐介先生）の発表がなされる点が報告された。
- ・平成 32 年度診療報酬改定の予定について説明がなされた。

6) 倫理・渉外委員会（羽瀧友則委員長）

- ・堤健太郎弁護士の新任，および金子弘真委員の退任が報告された。
- ・倫理審査規定，各書式の策定がなされた点が報告された。

- ・新規審査について審査料1件に対し10万円とすることが承認された。
- ・倫理審査規定・手順書内に審査対象に関する一部訂正の指摘が入り、再度堤弁護士の確認のもと最終決定とすることとなった。
- ・第1回倫理審査委員会（2018年4月9日開催）について報告がなされ、審査案件、結果報告について説明がなされた。

7) 用語集改訂委員会（羽瀧友則委員長）

- ・山縣正庸委員の退任が報告された。
- ・今後のJSES用語集の整備について、日本医学会用語集との整合性、現用語集の改定・新用語の追記方針について説明がなされた。

8) 評議員選考委員会（塩田充委員長）

- ・評議員の資格喪失後の再申請について審議し定款改訂をするに至った点が報告された。
- ・メディカルスタッフの評議員申請を可とするかについて、昨今の社会状況に鑑み、メディカルスタッフを評議員に加えることを前向きに検討したほうがよいとの意見が出され、改めて評議員選考委員会で審議し、規約委員会を経て9月理事会にて報告することとなった。
- ・2017年社員総会の出欠確認を経て、評議員資格失効者が4名となった点が報告された。

9) ガイドライン委員会（中村雅史委員長）

- ・倉内宣明委員の新任、明樂重夫副委員長の就任、出沢明委員・徳村弘実委員の退任が報告された。
- ・2019年改訂ガイドラインの作成状況について、進捗状況が報告された。
- ・冊子の対象者を「技術認定取得者に準ずるもの」とすることが報告された。
- ・冊子の出版は予定せず、ウェブ掲載のみとしたらどうかという意見が出され、次回ガイドライン委員会にて報告の上、異議がでなければそのとおり進めることとした。
- ウェブでの外部公開とする場合、産婦人科については著作権の都合上、公開が1年後に限定される点に留意する必要がある、と明樂重夫理事から説明がなされた。

10) 国際委員会（笠間和典委員長）

- ・Russian-Japanese Joint Symposium（2018年4月開催）へ講師2名（胃癌領域：木下敬弘先生、大腸癌領域：大田貢由先生）を派遣したことが報告された。
- ・2018年SAGESにおいてJSESジョイントセミナーを開催した点が報告され、第31回JSES総会においてもSAGESジョイントセミナーを開催予定であることが報告された。

11) 広報委員会（明樂重夫委員長）

- ・NewsLetter 28号の発行が報告された。
- ・学会雑誌の完全オンライン化に伴い、NewsLetterの掲載内容も見直していくこと、継続して紙媒体での発行としたい旨が述べられた。

12) COI委員会（山高篤行委員長）

- ・倫理審査におけるCOI審査の規定を付加することを内容とするCOI運用規則の改定について

報告された。

- ・第1回倫理審査委員会においてCOI申告書が提出され、承認された点が報告された。
- ・2018年度役員のCOI自己申告書提出について6月初旬に案内を送付することが説明され、記入協力についてのお願いがなされた。

13) 技術認定制度委員会（坂井義治委員長）

- ・山縣正庸委員の退任が報告された。
- ・2017年度消化器・一般外科領域、小児外科領域の合格者・更新者について報告された。
- ・2018年度関連学会（泌尿器科領域、産科婦人科領域、整形外科領域）新規申請者・更新者について報告された。
- ・関連学会における技術認定取得者についての状況が報告された。

14) 医工学連携委員会（内藤剛委員長）

- ・森川利昭委員長の退任が報告された。
- ・第31回JSES総会の企画について現在委員会で企画を検討中であることが報告された。
- ・学会から、例年通り300万円の準備金が支出されることが報告された。
- ・今後の委員会活動方針について、今後も総会内での医工連携企画立案を継承していく点、知的財産の取り扱いに関しては学会でのコンプライアンス整備などの問題もあり、知財に委員会が直接関わることは現状では困難であると考えている点が説明された。

15) メディカル・チーム検討委員会（岩崎昭憲委員長）

- ・奥芝俊一委員のアドバイザー就任が報告された。
- ・メディカルスタッフマニュアルの制作状況が報告され、第31回JSES総会前（11月頃）に会員へ配布する予定である点が説明された。

16) Eラーニング検討委員会（池田徳彦委員長）

- ・森川利昭委員の退任が報告された。
- ・Eラーニングの新ページ構築を検討していることが報告され、改めて、技術認定制度委員会、教育委員会、学術委員会等と連携し、2019年度に向け具体的な案を提示していく予定である点が説明された。

17) 第三者評価委員会（岩中督委員長：欠席）

報告事項なし

18) 将来構想委員会（渡邊昌彦委員長）

報告事項なし

19) 大上賞選考委員会（渡邊昌彦委員長）

報告事項なし

20) 出月賞選考委員会（大須賀穰委員長）

報告事項なし

21) 専門医制度検討委員会（北川雄光委員長：欠席）

報告事項なし

22) 第 31 回総会準備状況（岩崎昭憲会長）

- ・ 全員懇親会は小規模開催予定であること、4 月 26 日から演題募集が開始されたことが報告された。
- ・ 現在までに決定しているプログラム企画案などの説明がなされ、今後のさらなる協力依頼に対し、ぜひお力添えいただきたいとのお願いがなされた。

23) 第 32 回総会準備状況（小澤壮治次期会長）

- ・ 会期、会場に続き、テーマが「Challenge for Innovation」に決定したことが報告された。

24) 第 33 回総会準備状況（猪股雅史次々期会長）

- ・ 会期、会場に続き、テーマが「Visit the Past, Imagine the Future -Next 30 Years-」に決定したことが報告された。

25) 日本医学会・その他（渡邊昌彦理事長）

- ・ JSES が、National Clinical Database（NCD）の社員学会となった点が報告された。
- ・ 第 30 回日本医学会総会 2019 中部の特別展示に参加する予定であることが報告された。
- ・ 「日本医学会連合診療ガイドライン統括委員長会議」参加者に中村雅史先生を推薦することが報告された。

以上